

下地がなくとも安心安全 取付け簡単な「Fitrack」

Fitrack(フィットラック)取り付けの下地について

Fitrack(フィットラック)は、下地のない場所でも、付属の石膏ボード用アンカー(トグラ)を使用すれば、商品全体にかかる耐荷重が50kgまでは安心してお使いいただけます。

より安心してお使いいただくためには、新築・リフォームの場合は事前に下地を入れていただくか、下地が入れない場合は、レールを間柱に固定していただくことで、商品全体にかかる耐荷重が150kgまで安心してお使いいただけるようになります。

下地を入れる場合は、下記の【新築・リフォームで下地補強が可能な場合】
【下地を入れることができない場合の補強方法】をご参照ください。

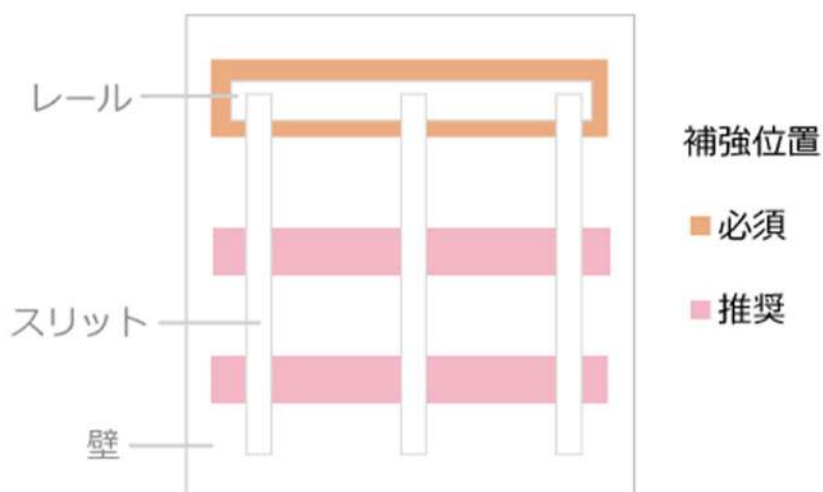
新築・リフォームで下地補強が可能な場合

下地を入れる場合は、背面壁全面コンパネ $t=9.5\text{mm}$ 以上 (12mm 推奨) の下地補強を推奨します。

現場の状況により、全面コンパネが難しい場合は、部分的な補強も可能です。

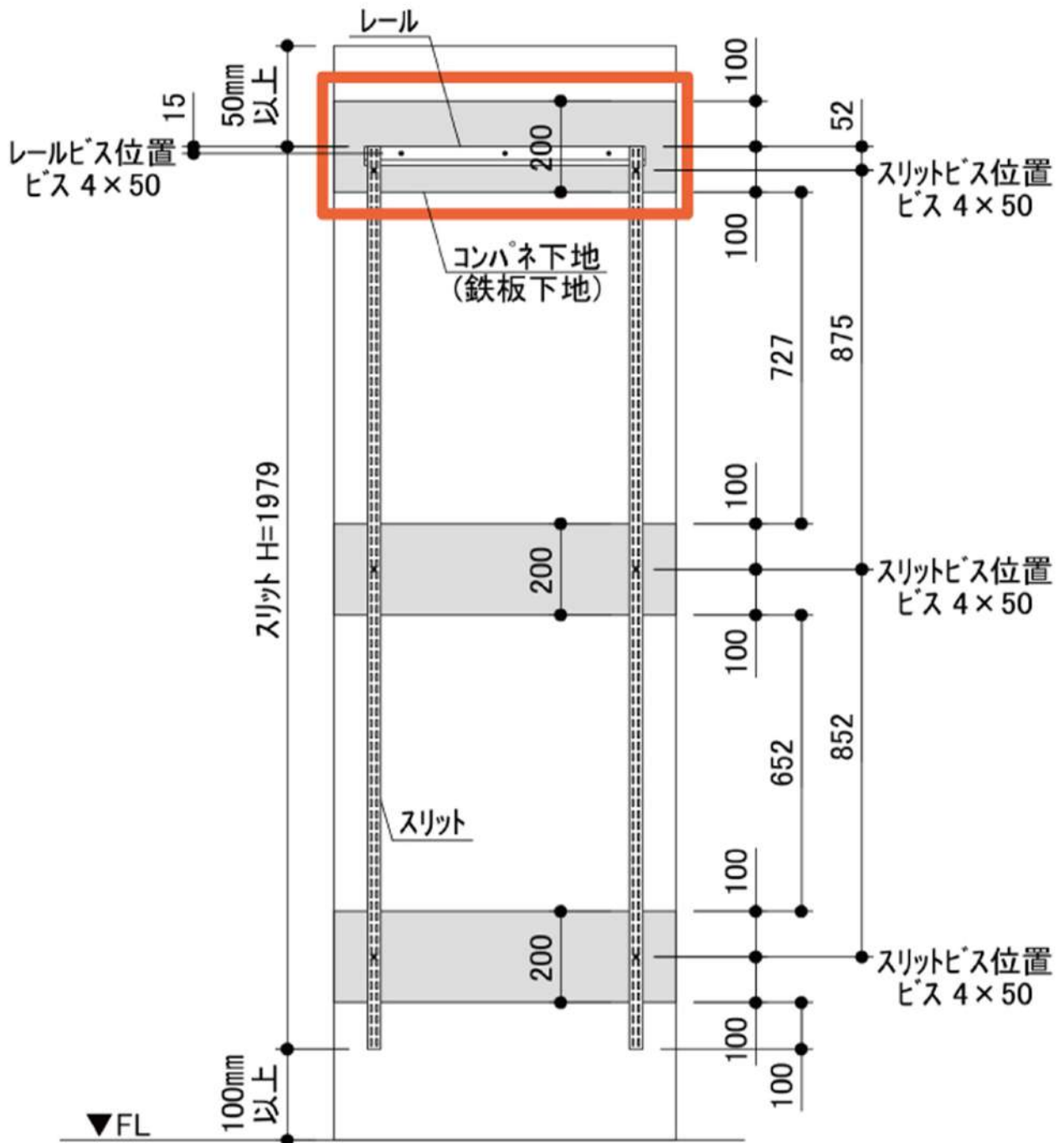
部分補強の場合は、下図のレール取付部 (■/ 必須) と、スリットビス位置周辺 (■/ 推奨) の下地補強をお願いします。

最上部に補強があり、スリットビス位置周辺 (■/ 推奨) の中間及び下部に下地がない場合は、下地がない箇所にボードアンカー等を使用し、固定することでも、耐荷重 150kg を実現することが可能です。

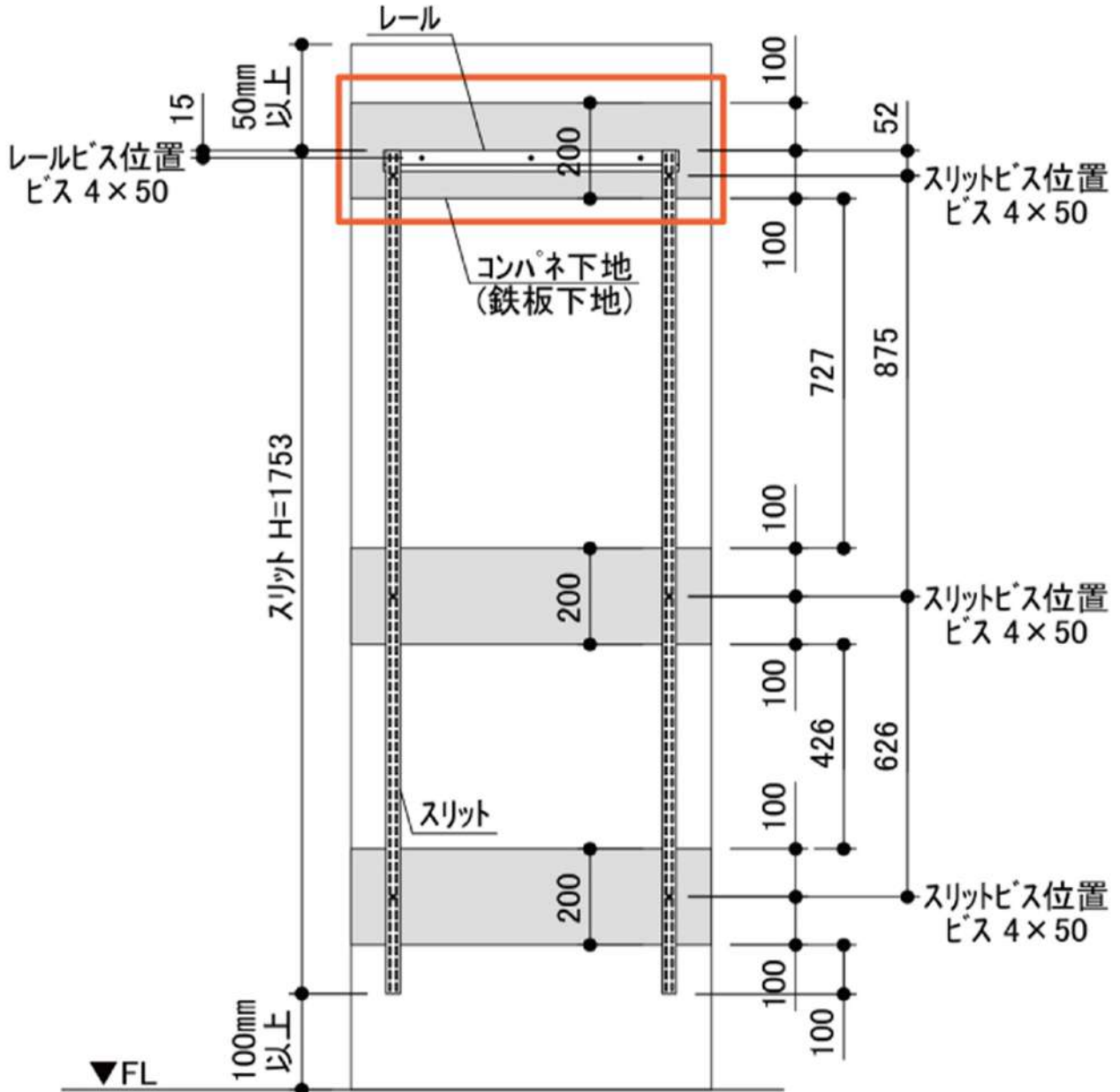


部分的に下地を入れる場合は、下図を参考に下地位置・範囲を決めてください。図中のグレー部分が推奨する下地範囲になります。図中□部分は、必ず下地を入れてください。

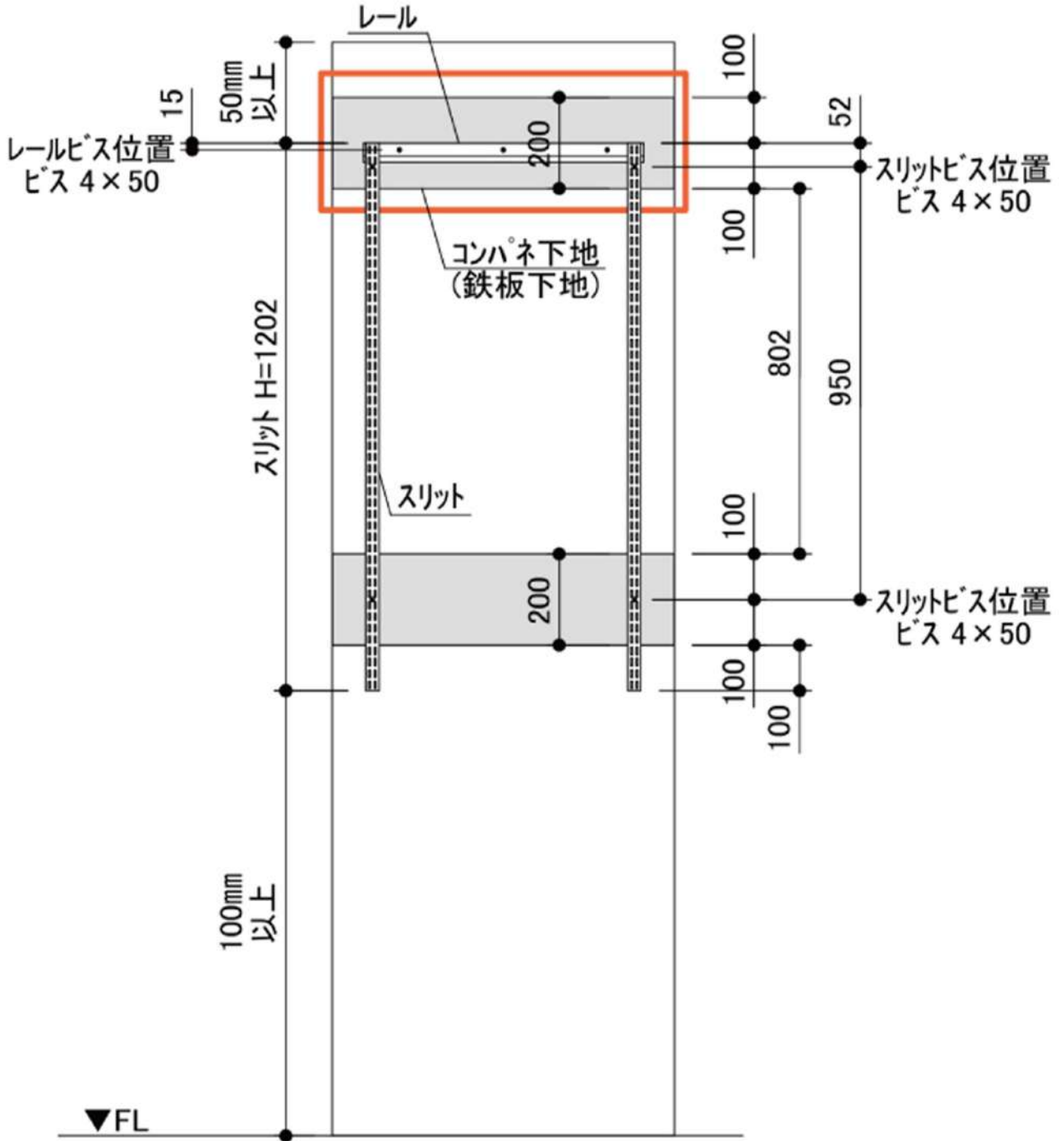
スリット高さ 198cm サイズの場合



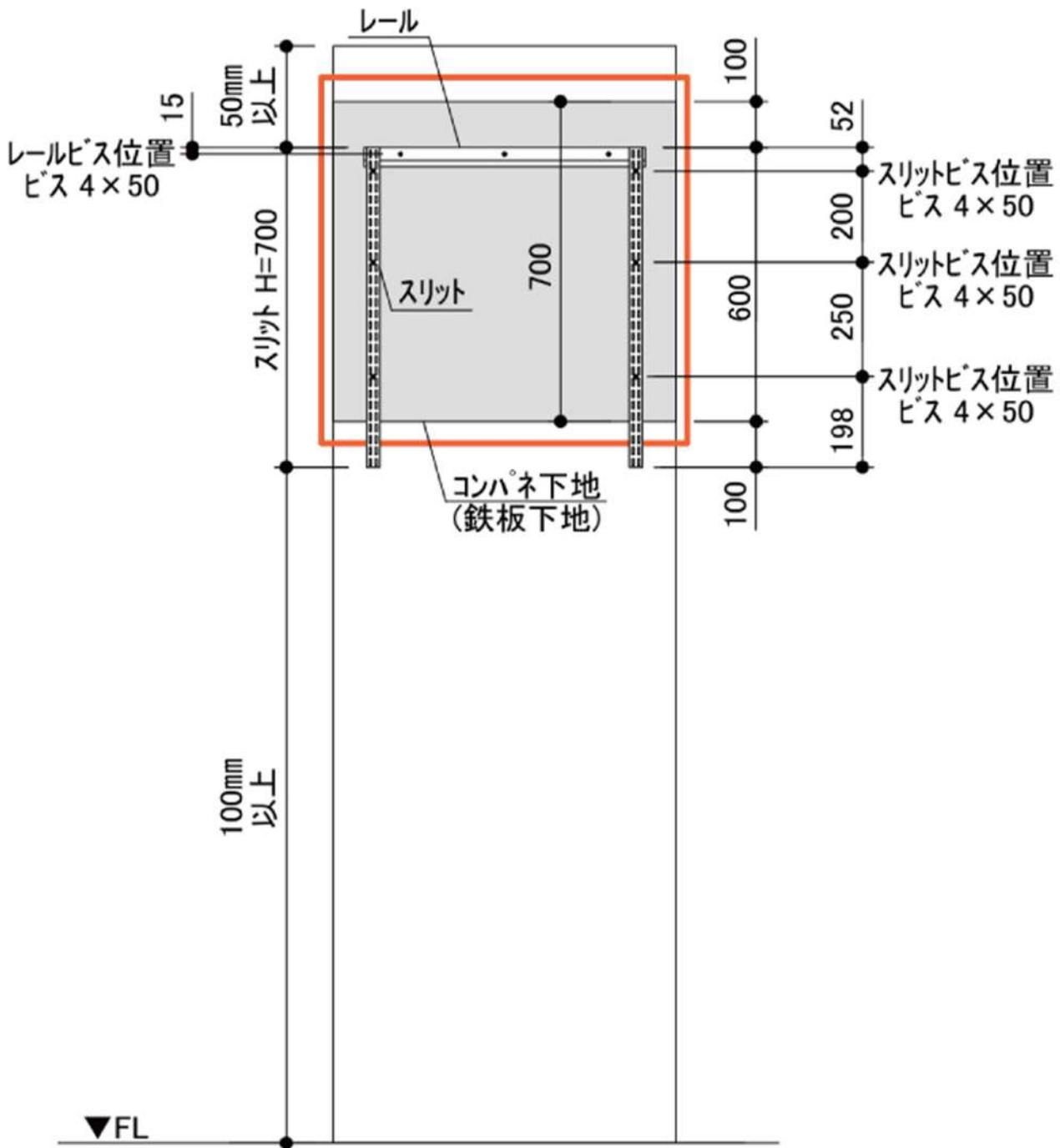
スリット高さ 175cm サイズの場合



スリット高さ 120cm サイズの場合



スリット高さ 70cm サイズの場合

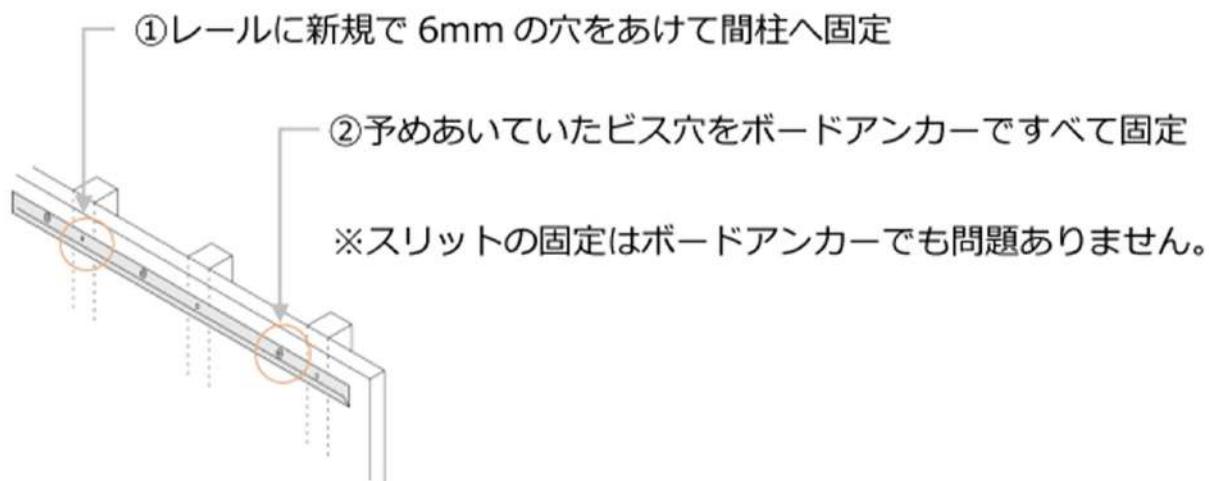


下地を入れることができない場合の補強方法

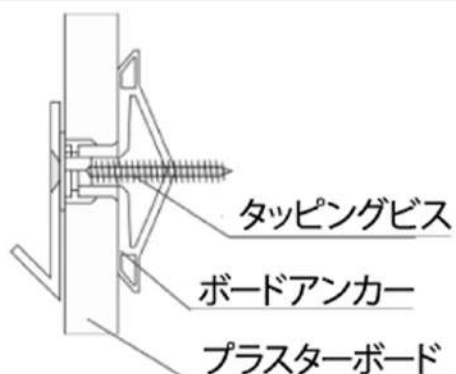
下地が入れない場合で、より安全な設置を望まれる方は、レールに予めあいているビス穴を利用し、間柱に固定してください。

間柱に止める数はレールの長さによって違う為、下記の『レールの長さに対する必要間柱固定数』をご参照ください。

間柱位置にビス穴が合わない場合は①②を実施してください。



plaster・ボードへの固定方法



■レールの長さに対する必要間柱固定数 (mm)

棚幅寸法 (レール 1 本)	間柱固定数
幅 450~ 幅 750	1
幅 900~ 幅 1500	2
幅 1650~ 幅 1800	3
棚幅寸法 (レール 2 本)	
幅 1950~ 幅 3000	4 (2/ 本)
幅 3150~ 幅 3600	6 (3/ 本)

施工上の注意事項

※現地での製品加工はできません。分解したり、修理・改造は行わないでください。

※棚受のねじを締め付ける際は、必ず手回しドライバーを使用してください。電動ドライバー等で締めすぎると、棚板及び棚板の鬼目ナットが破損し、棚板が脱落します。

※耐火建築の場合は、レール及びスリットの取付けは同梱の M4×50mm ねじではなく、M4×90mm ねじをご用意ください。